

令和4年度版

# 消 防 年 報



勝山市消防本部

この年報は、勝山市の消防現勢および令和4年度中の消防行政に関する実態を統計的に集録し将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するため編集いたしました。

なお、この年報は令和5年4月1日をもって作成したもので、統計その他のものについては、当該表に記載した年月日によります。

令和5年5月1日

勝山市消防本部

# 庶 務 関 係

## 目 次

1	市 勢	— 3 —
2	歴代消防管理者・消防長・消防署長・消防団長	— 6 —
3	沿 革	— 8 —
4	消防の沿革	— 9 —
5	大火と災害記録	— 2 1 —
6	消防の組織	— 2 3 —
7	消防本部事務分掌	— 2 4 —
8	消防予算状況	— 2 5 —
9	消防予算と人口等の関係	— 2 5 —
1 0	消防職員配置状況	— 2 6 —
1 1	消防職員の勤続年数	— 2 6 —
1 2	消防職員の年齢調	— 2 7 —
1 3	消防職員の採用状況	— 2 7 —
1 4	消防職員の教養状況（1 0 ヶ年）	— 2 9 —
1 5	消防団員の報酬及び費用弁償	— 2 9 —
1 6	消防団員の配置	— 3 0 —
1 7	消防団員の階級別勤続年数	— 3 1 —
1 8	分団別団員の勤続年数	— 3 1 —
1 9	消防団員の階級別年齢層	— 3 2 —
2 0	分団別年齢層	— 3 2 —
2 1	消防職・団員出動状況	— 3 3 —

# 1 市 勢

## (1) 地勢

勝山市は福井県の東北部に位置し、市の中心は福井市の東方約28kmの地点にあり、南東は大野市に、南西は福井市、北西に坂井市、西に永平寺町、北は石川県に隣接している。また、市の周辺は1,000m級の山々に囲まれ、中心部は県下最大河川である九頭竜川の中流域に位置している。

市街地は九頭竜川の流れに沿って形成された河岸段丘に位置しており、明治以来の地場産業である繊維産業を中心とした商工業と、古くから盛んな農林業を基幹産業とする水と緑の豊かな田園都市である。

## (2) 位置

東 経	北 緯	標 高		面 積	長 さ	
		最 高	市 役 所		東 西	南 北
136° 23' 34"	36° 0' 13"	1,671.4m	129.4m	253.88k m <sup>2</sup>	23.3km	17.0km
136° 39' 44"	36° 9' 17"	(大長山)	(中央公園)			

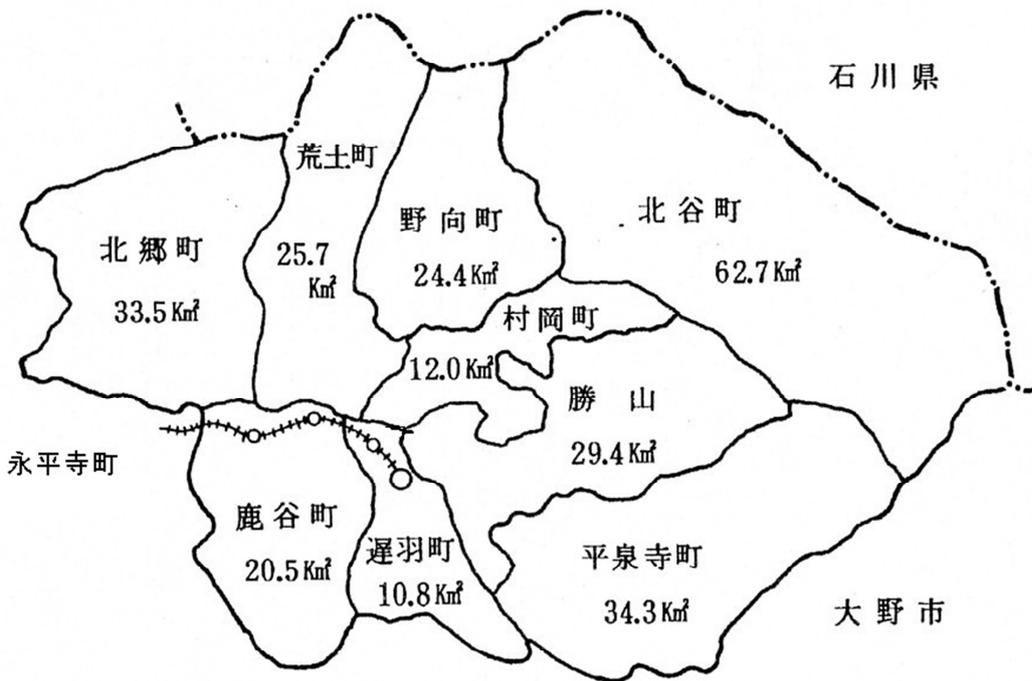
## (3) 世帯数及び人口 (令和5年3月31日現在)

世帯数		7,906	世帯
人 口	男	10,359	人
	女	11,339	人
	計	21,698	人

# 位置図

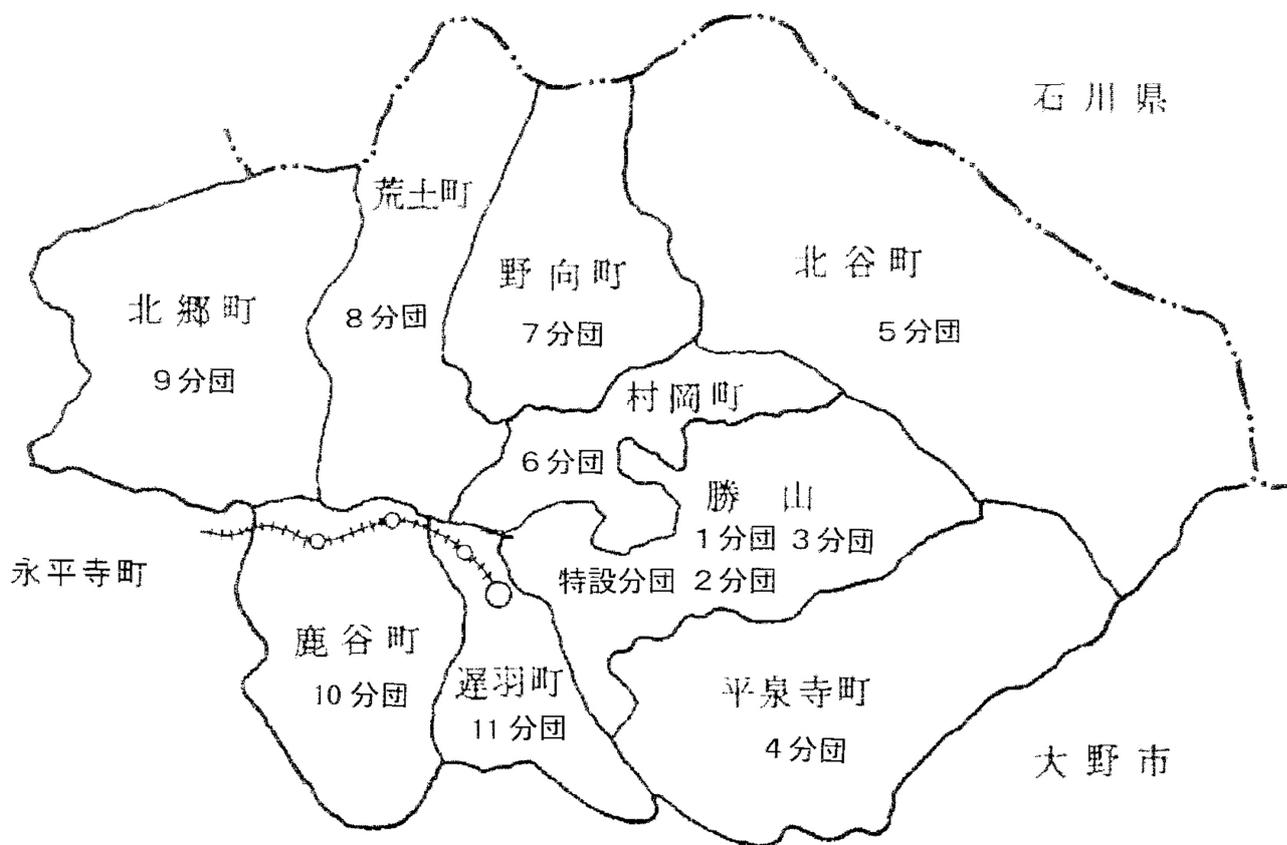


面積 (253.88 km<sup>2</sup>)



(注) 勝山市の面積については、市制施行以来 253.32 km<sup>2</sup>としてきたが、昭和 62 年に国土地理院が全国の 25000 分の 1 の地図を作成した際、精査したところ 253.68 km<sup>2</sup>と判明した。その後国土地理院が平成 25 年度に電子国土基本図を整備し、面積計測方法を変更したところ 253.88 km<sup>2</sup>となった。以後はこれをもって面積としている。ただし、旧町村ごとの面積については発表されなかったため、上記の地区ごとの面積の合計は従前のおり 253.32 km<sup>2</sup>となっている。

消防団 (各分団管轄)



## 2 歴代消防管理者・消防長・消防署長・消防団長

### 歴代消防管理者

山内 継喜	昭和36. 8. 1	～昭和37. 10. 14
山内 讓	昭和37. 10. 15	～昭和45. 10. 14
高野 春三	昭和45. 10. 15	～昭和51. 11. 17
池田 勤也	昭和51. 12. 26	～昭和63. 12. 25
今井三右衛門	昭和63. 12. 26	～平成12. 12. 25
山岸 正裕	平成12. 12. 26	～令和 2. 12. 25
水上 実喜夫	令和 2. 12. 26	～

### 歴代消防長（事務取扱及び心得含む）

山内 継喜	昭和36. 8. 1	～昭和37. 10. 14
山内 讓	昭和37. 10. 15	～昭和45. 10. 14
高野 春三	昭和45. 10. 15	～昭和51. 11. 17
池田 勤也	昭和51. 12. 26	～昭和62. 3. 31
鈴木 康教	昭和62. 4. 1	～平成 6. 3. 31
長谷川 義尚	平成 6. 4. 1	～平成 9. 3. 31
今井三右衛門	平成 9. 4. 1	～平成12. 3. 31
上山 邦夫	平成12. 4. 1	～平成14. 3. 31
山岸 正裕	平成14. 4. 1	～平成14. 9. 30
田中 公夫	平成14. 10. 1	～平成19. 3. 31
松山 保雄	平成19. 4. 1	～平成20. 3. 31
三屋 忠男	平成20. 4. 1	～平成22. 3. 31
吉田 新一	平成22. 4. 1	～平成25. 3. 31
堂山 信一	平成25. 4. 1	～平成30. 3. 31
横山 定守	平成30. 4. 1	～令和 2. 3. 31
本田 康雄	令和 2. 4. 1	～令和 4. 3. 31
千京 修一	令和 4. 4. 1	～

### 歴代消防署長

伊藤 政治	昭和38. 4. 1	～昭和44. 11. 30
松村 定雄	昭和44. 12. 1	～昭和56. 1. 30
鈴木 康教	昭和56. 2. 1	～昭和62. 3. 31
藤堂 達海	昭和62. 4. 1	～平成 元. 3. 31
鈴木 康教	平成 元. 4. 1	～平成 4. 3. 31
長谷川 義尚	平成 4. 4. 1	～平成 8. 3. 31
上山 邦夫	平成 8. 4. 1	～平成13. 3. 31
田中 公夫	平成13. 4. 1	～平成18. 3. 31
玉木 憲治	平成18. 4. 1	～平成19. 3. 31
三屋 忠男	平成19. 4. 1	～平成21. 3. 31
吉田 新一	平成21. 4. 1	～平成23. 3. 31
堂山 信一	平成23. 4. 1	～平成25. 3. 31
横山 定守	平成25. 4. 1	～平成30. 3. 31
本田 康雄	平成30. 4. 1	～令和 2. 3. 31
千有 京馬	令和 2. 4. 1	～令和 4. 3. 31
千有 馬雄	令和 4. 4. 1	～

歴代消防団長

佐々木 定治	昭和29. 9.	1~昭和38.	3. 31
道関 泰雄	昭和38. 4.	1~昭和42. 10.	8
河合 捨治	昭和42. 10.	9~平成 元.	2. 15
西出 巖	平成 元. 2.	16~平成 3.	3. 31
松村 秀紀	平成 3. 4.	1~平成14.	3. 31
久保 善央	平成14. 4.	1~平成15.	9. 30
米村 敏男	平成15. 10.	1~平成22.	3. 31
中村 雅彦	平成22. 4.	1~平成31.	3. 31
北川 賢一	平成31. 4.	1~	

### 3 沿革

本市では、九頭竜川の形成した河岸段丘上に、旧石器時代から人々が住んでいたことが発掘調査によって明らかとなっている。縄文時代になると生活範囲が広がり、市内各地で生活の跡が確認されている。

奈良時代に越の大徳と呼ばれた泰澄大師が開いたと伝えられる白山中宮平泉寺は、白山信仰の一大拠点として、最盛時には48社36堂6千坊を誇り、越前文化の中心的存在となり、商工業や文化が大いに高まり繁栄したが、天正2年（1574）、一向宗徒の焼き討ちにより一夜にしてその栄華を失った。その後、柴田勝安が一向一揆を鎮め、袋田村に勝山（袋田）城を築きこれを統治した。勝山の地名は一向一揆勢が立てこもった御立山（通称村岡山）を「勝ち山」と呼んだことから起こったといわれる。元禄4年（1691）に、小笠原氏が入封し、明治に至るまで藩政が続いた。廃藩置県後、機業が勃興し、羽二重を中心とする絹織物の製造が盛んになり、さらに昭和初期には人絹織物の導入によって織物立国を形成した。戦後は、設備の近代化、技術革新により高級合繊織物の一大産地として国内外に知られた。

行政の組織は明治の市制町村制により、現市域内に、1町9箇村が誕生。その後猪野瀬村が勝山町に編入合併され、昭和29年（1954）9月1日、町村合併法により、勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村北郷村、鹿谷村、遅羽村の1町8箇村が合併し市制を施行。人口39,043人の勝山市が発足した。

昭和63年（1988）に、手取層群の1つ北谷町杉山で、1億2千万年前の肉食恐竜の化石等が発見されて以来、この地域一帯は全国でも貴重な恐竜化石の宝庫としてクローズアップされている。平成12年に福井県立恐竜博物館が開館し、平成19年には日本で初めて恐竜の皮膚痕化石が発見された。平成30年度には年間入館者数が開館以来最高の93万8,310人（野外恐竜博物館含む）を記録し、令和2年8月に通算入館者数が1,100万人を突破した。

まちづくりの面では、市では、平成14年に「勝山市エコミュージアム推進計画」を掲げている。これは、まち全体を屋根のない博物館（ふるさと元気博物館）とする構想で、市民が自らのまちに愛着を持ち、自然、歴史、伝統文化、あるいは産物、人的ネットワークといった地域の資源を再発見し、それらの新しい価値を見つけ発展させ、地域の誇りと元気を取り戻す計画である。令和4年からは第6次勝山市総合計画がスタートし、「わいわいわくわく 安全安心のまち かつやま」を目指したさまざまな施策の展開を図る。

文化、観光面では、平成18年には、史跡平泉寺を含む「霊峰白山と山麓の文化的景観」を世界遺産の暫定リストへの登録申請を行った。平成24年10月には、「白山平泉寺歴史探遊館まほろば」が、平泉寺及び白山の歴史、自然及び文化を紹介する拠点としてオープンし、令和2年9月には入館者が30万人を突破した。平成21年7月に、近代化産業遺産に認定された「はたや記念館ゆめおれ勝山」が、まちなか誘客の拠点としてオープンし、令和3年5月には入館者120万人を達成した。平成21年10月には、勝山市全域をエリアとする「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」が日本ジオパークに認定された。

福祉及び子育て支援では、勝山市の高齢化率が37.4%（令和4年4月1日現在）と高齢化が進んでいるなか、平成17年にオープンした福祉健康センター「すこやか」が、市民の地域福祉活動と健康づくりの拠点として親しまれる施設の充実を図っている。また、誰もが夢と希望を持って子育てができる環境を整えた「子育て環境日本一」を目指して、さまざまな子育て支援施策を展開している。

## 4 消防の沿革

勝山市消防の起源は、今より約250年前延享3年3月に始まっている。

当時再三の大火により、同時代の藩主小笠原6代目長教公より非常用水籠300ヶ賜ったのを契機として、とび組といえる町廻り番を創設されたのが消防の前身である。

その後、安政2年藩主長守公の時代に消防組を青黄赤白黒の5色組に再編成し以来いろは組天地人組等に変遷をなした。

一方消防施設については、大正3年に蒸気消防ポンプ1台が配置され、同7年にはガソリン消防ポンプ1台の配置を契機として2台の寄付を含め昭和10年には合計9台の最新式消防ポンプを備え、消防機械においては県下一の陣容を誇っていた。

昭和20年6月には勝山町に消防常備部が新設され、常勤機関員を配置するなど消防機構の充実を図り時代の情勢により大きく進展しているが、以下は次表のとおりである。

昭和20年	常備部を新設し常勤機関員3名配置
昭和23年	常備部を常備分団に改め常勤団員3名増員し6名となる。警防団9ヶ分団で900名の団員となる
昭和25年	国家消防本部より表彰旗授与
昭和26年	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
昭和29年	1町8ヶ村（勝山町、平泉寺村、北谷村、野向村、村岡村、荒土村、北郷村、鹿谷村、遅羽村）の合併により市制が施行され、勝山市消防団が設置され常備分団の常備団員3名増員し9名となる
	地域の防火体制の充実を図るため、自衛消防隊用可搬式小型動力ポンプ5台購入し各集落へ配備
消防団組織	1団12ヶ分団 団員 400名
消防力	消防ポンプ自動車 3台
	水槽付消防ポンプ自動車 1台
	三輪消防ポンプ車 4台
	積載小型動力ポンプ 3台
	手引動力ポンプ 3台
	可搬式小型動力ポンプ 5台（自衛用）
昭和30年	自衛消防隊の消防力強化を図るため可搬式小型動力ポンプ整備年次計画策定
昭和35年	消防団の消防力強化のため消防ポンプ自動車を購入及び更新
	現有消防力は、消防ポンプ自動車 8台

水槽付消防ポンプ自動車	1台
三輪消防ポンプ車	3台
積載小型動力ポンプ	5台
手引動力ポンプ	2台
手引小型動力ポンプ（台車）	5台
可搬式小型動力ポンプ	34台（自衛用）である

昭和36年 消防本部、署を設置し常備職員を消防本部及び署の消防職員とし、常備分団を廃止し特設分団に改める

日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈  
現有消防力

消防本部、署	消防職員	9名
	消防ポンプ自動車	4台
	水槽付消防ポンプ自動車	1台
	積載小型動力ポンプ	2台
消防団	団員（12ヶ分団）	400名
	消防ポンプ自動車	6台
	三輪消防ポンプ車	3台
	手引動力ポンプ	2台
	積載小型動力ポンプ	3台
	手引小型動力ポンプ（台車）	5台
自衛	可搬式小型動力ポンプ	48台

昭和37年 消防職員5名増員、総員14名  
消防庁舎の建設  
可搬式小型動力ポンプ6台購入、合計54台

昭和38年 消防職員8名増員、総員22名  
積載小型動力ポンプ1台購入、合計3台  
消防本部、署の設置政令指定を受ける  
豪雪により、甚大な被害を受ける

昭和39年 消防職員4名増員、総員26名  
消防庁長官より消防力拡充強化優良消防本部表彰を受賞し表彰旗伝達される

昭和41年 福井精練㈱より水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈  
消防本部、署の消防力

	消防ポンプ自動車	4台
	水槽付消防ポンプ自動車	2台
	積載小型動力ポンプ	3台
	自衛消防隊可搬式小型動力ポンプ	58台 となる
昭和42年	救急業務開始（任意）	
	業務連絡用ジープを改造し救急業務を実施	
	積載小型動力ポンプ1台増強、合計4台	
昭和43年	消防団第8分団ポンプ自動車廃車し、消防本部車を配備	
昭和44年	救急業務政令指定を受け救急隊員を任命	
	消防本部用消防ポンプ自動車（BD-1）1台購入	
	消防団第6分団三輪消防ポンプ車廃車し、消防本部車を配備	
	自衛消防隊可搬式小型動力ポンプ合計70台となる	
昭和45年	消防職員2名増員、総員28名	
	消防相談所開設、市民防火の日制定	
	林野火災用トラック1台配備	
	消防団の機動力増強のため、可搬式小型動力ポンプ付積載車配備年次計画を策定	
	日本自動車工業会より救急自動車寄贈	
	消防署所属消防ポンプ自動車を消防団特設分団へ配備	
	消防団機動力整備年次計画初年度として、第6、7、8分団に配備し更新	
昭和46年	消防広報公聴活動の推進要綱制定	
	小型動力ポンプ付積載車1台購入し消防団第5分団に配備	
昭和47年	水槽付消防ポンプ自動車（高発泡器付）更新し消防署に配備	
	集団災害における救急医療実施計画策定	
	クレーン車利用による救出救助用ゴンドラ開発	
	防火水槽安全対策年次計画策定	
	県下消防操法大会ポンプ車の部で第2分団入賞	
昭和48年	勝山市消防団定数改訂により275名となる	
	消防職員3名増員、総員31名	
	消防相談連絡所開設	
	焼死事故防止対策として老人家庭指導専従員任命	
	ロータリークラブより老人家庭用火災警報機寄贈	
	勝山ライオンズクラブより防火指導車（ライオンズ号）及び山林火災用小型ポンプ	

- (D-1級) 一式寄贈
- ジープ型消防ポンプ自動車(夜間照明付)を消防本部、署に配備
- 小型動力ポンプ付積載車を第1、2、9分団に配備
- 昭和49年 消防本部、署の機構改革により警防係を警防第1係、警防第2係とする  
 婦人防火モデル地区の設定  
 小型動力ポンプ付積載車を第4、10分団に配備
- 昭和50年 第1、2分団の小型動力ポンプ更新  
 日本消防協会より救急自動車寄贈  
 第1分団ポンプ庫を立川町に移転改築
- 昭和51年 小型動力ポンプ付積載車を第9分団に配備し第1次消防団機動力整備計画完了  
 県総合防災訓練を弁天河原にて実施  
 消防団員の処遇改善として2年計画により全員に雨衣貸与
- 昭和52年 ジープ型指令車更新  
 消防団団旗更新  
 県下消防操法大会自動車の部で第8分団入賞  
 日本防火協会より少年消防クラブ員の制服及び鼓笛隊の楽器一式寄贈
- 昭和53年 東京海上火災(株)より防災広報車「みずたま号」寄贈  
 自衛消防施設整備事業補助金交付要綱を制定し地元負担の軽減を図る  
 消防本部、署所属消防ポンプ自動車更新  
 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車BD-1「火災保険号」寄贈  
 勝山ライオンズクラブより防火指導車(ライオンズ号)及び山林火災用小型ポンプ一式寄贈(更新)  
 県下消防操法大会ポンプ車の部で第9分団入賞  
 第11分団ポンプ庫改築
- 昭和54年 消防団の処遇改善として各種手当改訂  
 消防団分団旗更新  
 消防本部、署の機構改革により庶務、予防、警防の3課とする  
 県下消防操法大会ポンプ車の部で第10分団入賞  
 消防団施設第2次整備計画策定  
 第7、9分団ポンプ庫改築
- 昭和55年 日本消防協会より優良消防団表彰受賞  
 県下消防操法大会小型ポンプの部で第5分団優勝

- 第7回全国消防操法大会に第5分団出場  
日本防火協会より防火広報車寄贈
- 第6、8分団ポンプ庫改築  
小型動力ポンプ付積載車を特設分団に配備
- 昭和56年 「走りやんこ」勝山市の民俗無形文化財に指定  
消防団の処遇改善として各種手当改訂  
北陸製薬(株)より救急訓練用モデルセット寄贈  
第9、10分団ポンプ庫改築  
焼死事故防止強化策としてファイヤーヘルパー制度樹立  
豪雪により甚大な被害を受ける
- 昭和57年 越前信用金庫より救急車両(信金号)寄贈  
第3、5分団ポンプ庫改築  
3部制の試行を1部導入 4名×3班
- 昭和58年 深谷病院より心肺蘇生法実技訓練用人体モデルセット(2セット)及び患者移送用  
保温バック一式寄贈  
第4分団ポンプ庫改築  
勝山ライオンズクラブより防火指導車(ライオンズ号)寄贈(更新)
- 昭和59年 パーソナルコンピューター一式寄贈  
3部制職員を増員し業務の能率化を図る 5名×3班  
職員1名増員、条例定数32名  
市制30周年、消防団発足30周年記念「防火のつどい」が日本防火協会の共催にて開催  
日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬式ポンプ3台寄贈  
県下消防操法大会ポンプ車の部で第7分団優勝  
第2分団ポンプ庫改築し全分団の車庫がコンクリートブロック造とする
- 昭和60年 消防団員の処遇改善として、各種手当改訂  
日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬式ポンプ1台寄贈、合計4台  
日本消防協会より広報指令車寄贈  
消防団第7、8分団の可搬式小型動力ポンプB-2級に更新  
水防倉庫を移転新築、水防資材備蓄搬出の効率化を図る  
県総合防災訓練を栄町1丁目及び勝山橋下流弁天河原にて実施  
勤務体制を完全3部制に移行、日常業務の充実を図る(9人×3部)

昭和61年 消防団第5、6分団可搬式小型動力ポンプB-2級に更新  
日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬式ポンプ2台寄贈、合計6台  
消防団員の定年制導入

昭和62年 専任消防長任命  
日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬式ポンプ2台寄贈、合計8台  
前田建設株式会社より越前大仏落慶記念として、軽可搬式ポンプ4台寄贈、市内福祉施設に配備  
消防緊急情報システム導入  
消防団第7、8分団小型動力ポンプ積載車更新

昭和63年 消防団の処遇改善として各種手当改訂  
救助業務政令指定を受け救助隊員任命  
勝山ライオンズクラブより防火査察指導車1台寄贈（更新）  
消防団第4分団（4輪駆動）、第11分団の小型動力ポンプ積載車更新

平成元年 大阪相互タクシー株式会社より25米級梯子付消防ポンプ自動車寄贈（仮設車庫含む）  
四輪駆動消防ポンプ自動車（CD-1）を更新し消防署に配備  
非常通報体制の確立（学校）  
勝山市災害弱者緊急通報システム導入（端末器50台設置）  
職員1名増員、条例定数33名  
消防車両用車庫増築  
各署員、分団幹部へ無線受令機配備  
日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬式ポンプ2台寄贈、合計10台  
消防団第5分団（四輪駆動）第6分団の小型動力ポンプ積載車更新  
日本損害保険協会より救助工作車（Ⅱ型）寄贈  
北陸製薬株式会社より救急自動車（2B型）寄贈

平成2年 消防職員の処遇改善として4週6休完全実施  
日本損害保険協会より救急自動車（2B型）寄贈  
第2水防倉庫（北郷町東野18-30）改築（33.4㎡）  
新消防庁舎建築着工  
県下消防操法大会ポンプ車の部で第10分団2位入賞  
日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬式ポンプ2台寄贈、合計12台  
消防団第1、9分団の小型動力ポンプ付積載車更新

- 消防団活動強化事業開始（3ヶ年計画）（県費補助対象事業）
- 消防団分団旗（12ヶ分団）更新
- 勝山市災害弱者緊急通報システム端末器50台設置（100台になる）
- 平成3年 消防団員の処遇改善として各種手当改訂
- 新消防庁舎落成（長山町2丁目2-7）
- 消防団第2、10分団の小型動力ポンプ積載車更新
- 小笠原公入封300年祭記念行事「走りやんこ」開催
- 消防団初の女性団員誕生（3名）
- 勝山市消防本部発足30周年記念、勝山市防火推進大会が日本防火協会共催で開催
- 四輪駆動消防ポンプ自動車（CD-1）を消防署に配備
- 勝山市災害弱者緊急通報システム端末器80台設置（180台になる）
- 平成4年 勝山ロータリークラブより環境保全用樹木寄贈
- 日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬ポンプ1台寄贈、合計13台
- 日本防火協会より勝山市婦人防火クラブへ防火広報車1台寄贈
- 四輪駆動消防ポンプ自動車（BS-1）を消防団第9分団に配備
- 消防団女性団員8名入団、総員11名
- 平成5年 職員4名増員、条例定数37名
- 消防団女性団員11名入団、総員22名
- 日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬ポンプ1台寄贈、合計14台
- 日本消防協会より防災用緊急伝達機材（無線機5台、拡声器2台）寄贈
- 日本防火協会より幼年消防クラブへ鼓笛隊セット一式寄贈
- 勝山市危険物安全協会発足30周年記念大会が開催
- 平成6年 日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬ポンプ1台寄贈、合計15台
- 第18回婦人防火全国大会が福井市で開催され、演技出演する
- 県下消防操法大会ポンプ車の部で第6分団優勝
- 日本消防協会より消防指令広報車の寄贈を受け消防広報1号車更新
- ジープ型指令車更新
- 財団法人自治総合センターより防災教育用資機材一式助成
- 第14回全国消防操法大会に第6分団出場
- 平成7年 阪神淡路大震災発生、災害救助応援隊を神戸市へ派遣
- 日本消防協会より小型動力ポンプ積載車寄贈
- 県防災総合訓練を震災時の対応を中心として、中央公園及び弁天緑地で実施

- 全国女性団員活性化宮崎大会に（特別委員）参加
- 平成8年 消防団第3、4分団ポンプ庫を移転
- 日本消防協会より婦人消防隊用軽可搬ポンプ1台寄贈、合計16台
- 第12回全国婦人消防操法大会に福井県代表として野向町竜谷婦人消防隊が出場
- 耐震性防火水槽100m<sup>3</sup>1基をあさひ公園（旭町3丁目）に設置
- 福井県防災行政無線再整備の衛星波を設置
- 応急手当の普及啓発活動実施計画を制定して、応急手当指導員を認定し、救命講習受講者に対して修了証を交付する
- 消防職員委員会が発足し、初の委員会開催
- 平成9年 救急救命士研修2名修了
- 救助機械器具として油圧救助器具、大型油圧スプレッダー等5点整備
- 耐震性防火水槽100m<sup>3</sup>1基（元町2丁目）増設、合計2基
- 水槽付ポンプ車（1,500L）更新
- 消防相互応援協定に基づき、松任石川広域事務組合消防本部と白峰村にて合同訓練実施
- 平成10年 福井県防災ヘリコプター乗務隊員1名派遣
- 耐震性防火水槽100m<sup>3</sup>1基（郡町）増設し、市街地（南部、中心部、北部）合計3基となる
- 松任石川広域事務組合と北谷町河合地係に於いて集団災害合同訓練実施
- 救急救命士研修2名修了
- 高規格救急車導入、救命率の向上を図る
- 福井県防災ヘリコプターを使用しての救急搬送合同訓練を実施
- 携帯電話119番受付転送業務開始（大野地区消防組合消防本部代表受信）
- 平成11年 全国女性消防団員中央研修大会（東京）に参加
- 消防相互応援協定に基づき、大野地区消防組合消防本部と片瀬町にて合同訓練実施
- コンピュータ西暦2000年問題で消防緊急通信指令施設の危機管理体制を実施
- 火災件数は消防本部設置以来（S36年）最低（3件）を記録
- 救急救命士研修1名修了
- 平成12年 恐竜エキスポふくい2000に80万余名が来勝、消防職、団員延べ440人を動員、消防警備に万全を期す
- 火災件数が平成2年以来の多発、焼死者2名
- 全国的に救急出場件数が増加、当市においても過去最高の661件の救急出場とな

る

救急救命士研修1名修了

消防本部旗更新

公務災害防止対策推進事業助成を受け、全消防団員の活動長靴を更新

日本消防協会より応急手当訓練用資機材助成

平成13年 京福越前本線発坂～保田駅間で上り、下り電車が正面衝突し、負傷者25名救出、搬送。大野地区消防本部、吉田地区消防組合消防本部へ救急隊の応援要請をする  
自治総合センターよりイベント用放送設備、広報活動用デジタルビデオカメラ一式  
助成

福井県消防操法大会ポンプ車の部で第4分団優勝

消防本部・署発足40周年記念式典開催

梯子車の保守点検委託実施

平泉病院より心肺蘇生人形及び外傷キット寄贈

全国女性消防団員中央研修大会（東京）に2名参加

平成14年 勝山市消防団が消防庁長官より「消防団地域活動表彰」受賞  
市の機構改革により、グループ制導入  
初の女性消防吏員採用

久保新団長より消防団旗寄贈

消防吏員に新基準の被服導入

勝山市総合防災訓練実施

北谷町木根橋地係地すべり警戒体制をとる

福井県消防操法大会ポンプ車の部で第10分団優勝

第18回全国消防操法大会に第10分団出場

水防自動車を購入、消防署に配備

四輪駆動消防ポンプ自動車（BD-1）を消防団第3分団に配備

四輪駆動消防ポンプ自動車（CD-1）を更新、消防団特設分団に配備

平成15年 日本消防協会より指令車（ジープ型）の寄贈を受け、指令2号車を更新  
救急救命士研修1名修了

消防本部組織改革により3課1室となる（通信指令室 増）

救急消毒室を新設

特設分団庫を移転新築

平成16年 加越国境冬山登山遭難事故により、14人救出、搬送。

(緊急援助隊として、福井地区消防本部、大野地区消防本部、吉田地区消防組合消防本部、併せて、福井県防災ヘリ、富山県防災ヘリ、航空自衛隊小松救難隊の協力を得た。)

福井豪雨の応援隊4隊派遣

福井県消防操法大会ポンプ車の部で第11分団優勝

福井県総合防災訓練(豪雨等のため中止)

日本損害保険協会より脊推固定器具(ショート・ボード)寄贈

勝山市消防団50周年記念大会開催

日本消防協会より消火訓練用放射器具・模擬消火訓練装置セットの助成を受ける

平成17年 救急救命士研修1名修了

福井県総合防災訓練実施

携帯119直接受信開始

豊栄観光(株)よりAEDトレーナ・本体セット一式寄贈

日本消防協会より液晶プロジェクター一式及び軽可搬式ポンプ一式の助成を受ける

平成18年 豪雪により甚大な被害を受ける(雪害対策室設置)

消防広報車(軽自動車)購入

消防団員に新基準の活動服導入

日本消防協会より防火広報のぼり旗及び軽可搬式ポンプ一式の助成を受ける

石川県能登半島地震に伴う緊急消防援助隊1隊派遣

平成19年 福井県防災ヘリコプターへ副隊長で1名派遣

高規格救急車1台購入 高規格救急車2台での運用となる

平成20年 消防団幹部候補中央特別研修(東京)に女性消防団員2名が参加

消防団第7、8分団小型動力ポンプ付積載車更新

消防団第7、8分団小型動力ポンプ付積載車更新に伴いポンプ庫を新築

平成21年 日本消防協会より防災活動車(ワゴン型)の寄贈を受け、広報3号車を更新

消防団第6、11分団小型動力ポンプ付積載車を更新

消防団第6分団小型動力ポンプ付積載車更新に伴いポンプ庫を新築

消防団ラッパ隊再編成

消防職員防火服更新(37着)

勝山市防災行政無線運用開始

勝山市緊急メールシステム運用開始

消防団協力事業所表示制度を開始

- 平成22年 消防団第1、5分団小型動力ポンプ付積載車更新  
 消防団第1、5分団小型動力ポンプ付積載車更新に伴いポンプ庫更新  
 消防団第4分団総務省消防庁より、救助資器材搭載型車を借受
- 平成23年 緊急通報指令システムを更新、携帯・IP 電話からの位置情報通知システム運用開始  
 女性消防団員を応急手当普及員に認定  
 東日本大震災に伴う緊急消防援助隊で岩手県陸前高田市へ4次隊（19名）派遣  
 救急救命士研修1名修了  
 勝山市消防本部・署発足50周年行事開催  
 消防団第2、9分団小型動力ポンプ付積載車更新  
 消防団第2、9分団小型動力ポンプ付積載車更新に伴いポンプ庫を新築  
 消防団安全対策として、各分団にライフジャケット計60個配備  
 消防救急無線デジタル化に伴う伝搬調査・基本設計
- 平成24年 救助工作車（Ⅱ型）更新  
 女性消防団員リーダー会議（東京）に1名参加  
 第12回消防団幹部候補中央特別研修（東京）に2名参加  
 消防団第10分団小型動力ポンプ付積載車更新  
 消防団第10分団小型動力ポンプ付積載車更新に伴いポンプ庫を新築  
 中部縦貫自動車道永平寺大野道路併用開始  
 消防救急デジタル化に伴う実施設計
- 平成25年 福井県消防操法大会ポンプ車の部で第4分団優勝  
 職員1名増員、条例定数38名  
 高規格救急車1台購入（予備車を含め、高規格救急車3台での運用となる）  
 消防団特設分団CD-1ポンプ自動車購入  
 消防救急デジタル無線設備整備  
 消防庁舎屋上防水工事  
 救急救命士研修1名修了
- 平成26年 指揮車1台購入  
 消防庁舎自家発電機を更新  
 高圧コンプレッサーを購入  
 福井県総合防災訓練を実施  
 救急救命士研修1名修了
- 平成27年 機能別消防団員の導入（4月1日）

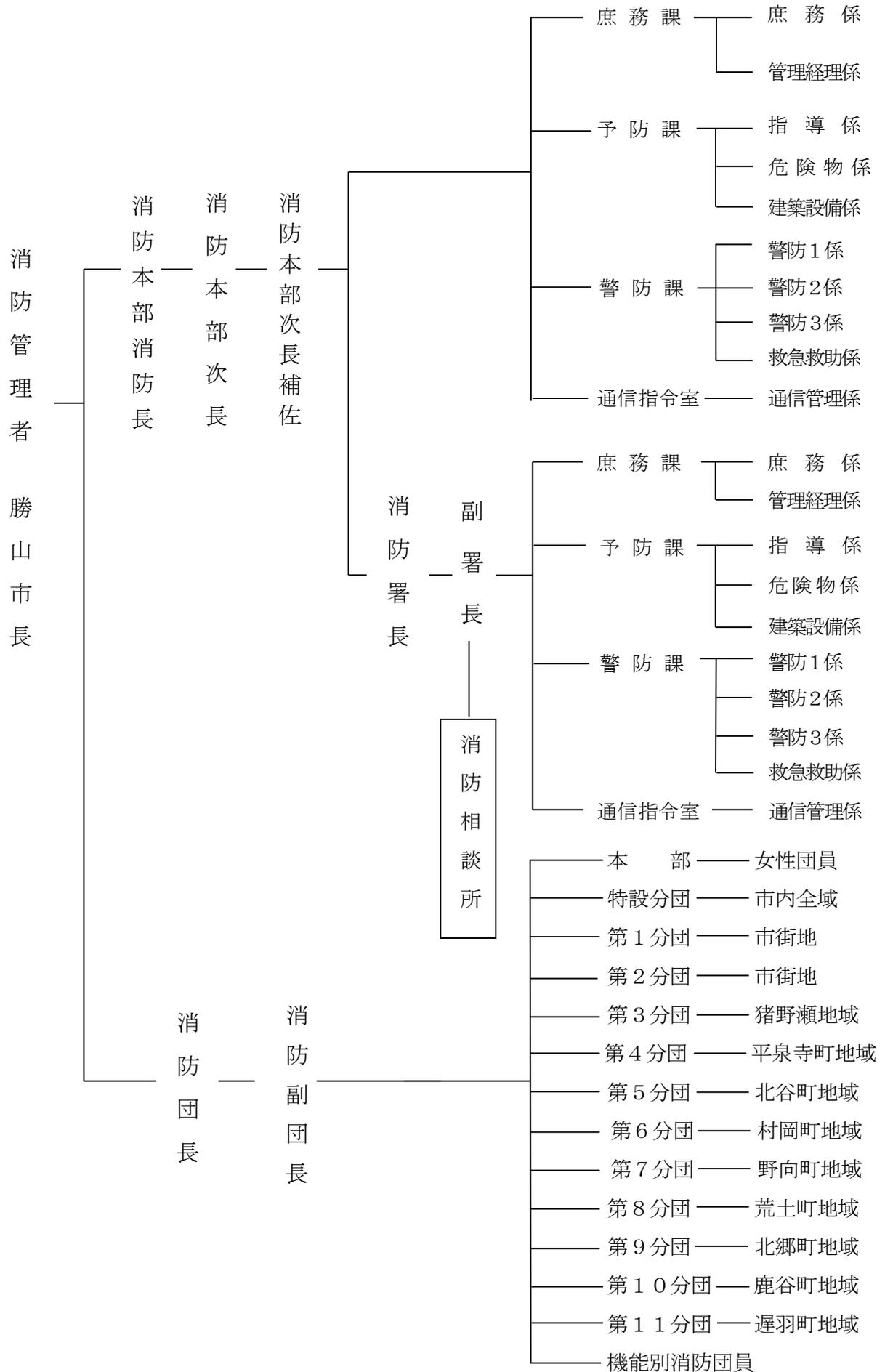
	恐竜王国 FIRE LADY (女性消防団員の愛称決定)
	第22回全国女性消防操法大会出場
	小型動力ポンプ付積載車購入
	ホースタワー更新
	救急救命士研修1名修了
	消防団の処遇改善として出動手当の増額
平成28年	福井県防災ヘリコプターへ隊員で1名派遣
	消防ポンプ自動車(CD-1)購入
	救急救命士研修1名修了
平成29年	消防職員条例定数4名増、42名
	消防団の処遇改善として年間報酬と各種手当の増額
	消防広報車(軽自動車)購入
	救急救命士研修1名修了
	消防団第9分団ポンプ庫統合によるポンプ庫移転
	気象観測装置更新
平成30年	水槽付ポンプ車(2100L)更新
	日本損害保険協会より小型動力ポンプ付軽消防自動車寄贈
	J-アラート更新
	救急救命士研修1名修了
平成31年	災害対応特殊救急自動車 更新
(令和元年)	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練 サブ会場として実施
	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練 実行委員会 職員派遣1名
	救急救命士研修1名修了
令和2年	消防団第3分団ポンプ車(CD-1)更新
	通信指令システム指令台更新
	救急救命士研修1名修了
令和3年	はしご車を更新し、多目的消防ポンプ自動車を配備
	仮眠室を個室化
令和4年	福井県総合防災訓練を実施
	救急救命士研修1名修了

## 5 大火と災害記録

1	明治26年	1月	鹿谷村矢戸口	15棟焼失
2	明治29年	4月13日	勝山町立石より出火	全焼1,120戸 焼死者5名 負傷者32名
3	明治31年	4月16日	鹿谷村保田	全焼63戸
4	明治37年	8月21日	遅羽村大袋	27棟焼失
5	大正3年	7月25日	鹿谷村本郷	全焼22戸
6	大正8年	5月26日	鹿谷村保田	民家60戸
7	昭和8年	7月25日	勝山町下元禄	小学校 役場 幼稚園 民家 799坪
8	昭和8年	7月26日	勝山町中後	寺院 169坪
9	昭和10年	9月23日	勝山町上元禄	工場 7棟 2,564坪
10	昭和13年	5月15日	野向村竜谷	民家 26戸
11	昭和22年	4月6日	村岡村寺尾	民家 10戸
12	昭和23年	12月31日	鹿谷村矢戸口	民家 13戸
13	昭和25年	8月20日	平泉寺村平泉寺	全焼19棟 半焼4棟
14	昭和26年	8月20日	北郷村東野	民家 25戸
15	昭和26年	8月25日	勝山町下元禄	勝山中学校 勝山高校焼失
16	昭和27年	5月16日	村岡村郡	全焼5棟
17	昭和28年	1月2日	勝山町沢	工場 6棟 792坪焼失
18	昭和29年	1月26日	北郷村伊知地	全焼4棟
19	昭和29年	9月30日	野向町竜谷	野向小中学校 125坪焼失
20	昭和32年	12月17日	上後	ダンスホール等全焼 5棟
21	昭和33年	3月14日	北谷町中尾	民家 9戸全焼
22	昭和34年	6月25日	郡(本町4丁目)	給油所火災 全半焼 5棟
23	昭和34年	9月		伊勢湾台風
24	昭和36年	9月		第2室戸台風
25	昭和37年	7月28日	鹿谷町保田	全焼5棟 半焼1棟
26	昭和38年	1月		38豪雪
27	昭和39年	1月8日	遅羽町蓬生	全焼3棟 半焼1棟
28	昭和39年	8月10日	平泉寺町小矢谷	全焼3棟
29	昭和40年	1月20日	鹿谷町本郷	工場 238㎡
30	昭和40年	9月		40.9三大風水害
31	昭和42年	3月16日	元町1丁目	工場 2棟 532㎡全焼
32	昭和43年	2月8日	野向町竜谷	公民館 248㎡ 全焼
33	昭和44年	5月1日	野向町聖丸	全焼4棟 半焼2棟
34	昭和45年	1月3日	村岡町浄土寺	民宿 2棟 212㎡全焼
35	昭和45年	4月25日	野向町牛ヶ谷	全焼7棟 林野 288a 焼失
36	昭和45年	5月	野向町	連続不審火
37	昭和45年	7月7日	野向町竜谷	小学校 482㎡全焼
38	昭和45年	12月17日	本町1丁目	全焼3棟 半焼1棟 死者1名
39	昭和47年	6月17日	鹿谷町発坂	工場 619㎡全焼
40	昭和49年	2月8日	北谷町中尾	工場 326㎡全焼
41	昭和49年	2月11日	村岡町寺尾	旅館 666㎡全焼
42	昭和51年	10月30日	北郷町坂東島	工場 4棟 587㎡全焼
43	昭和54年	4月18日	遅羽町比島	工場全焼 5棟 半焼1棟
44	昭和54年	4月23日	野向町横倉	山林 2,000a 焼失
45	昭和56年	1月		56豪雪
46	昭和56年	4月30日	本町2丁目	全焼3棟 半焼1棟 負傷者1名
47	昭和56年	7月		集中豪雨
48	昭和56年	10月5日	立川町1丁目	工場 3棟 380㎡全焼
49	昭和56年	12月13日	昭和町1丁目	工場 3棟 546㎡全焼

50	昭和57年	2月15日	平泉寺町小矢谷	牛舎 664㎡全焼
51	昭和57年	7月30日	村岡町寺尾	旅館 2棟 215㎡全焼
52	昭和57年	12月6日	村岡町滝波	住宅全焼 1棟 死者 3名 負傷者 2名
53	昭和58年	2月20日	勝山市雁ヶ原	スキーロッジ 513㎡全焼
54	昭和60年	5月4日	本町4丁目	住宅全焼 3棟 半焼3棟
55	昭和61年	4月16日	鹿谷町本郷	保育園全焼 死者 3名 負傷者 1名
56	昭和61年	5月3日	北谷町五所ヶ原 (国道157号線谷トンネル入り口)	大規模土石流発生 死者1名 負傷者2名
57	昭和62年	4月5日	荒土町松ヶ崎	独居老人家庭全焼 焼死者 1名
58	昭和63年	7月12日	成器南小学校火災不審火 元町3丁目他	連続不審火
59	平成2年	5月18日	栄町4丁目	工場 1棟 665㎡全焼
60	平成6年	3月2日	荒土町中清水	住宅全焼 死者 1名
61	平成6年	3月4日	北郷町伊知地	住宅半焼 死者 1名
62	平成6年	8月15日	遅羽町比島他	連続不審火
63	平成10年	8月		集中豪雨
64	平成12年	1月25日	元町3丁目	住宅全焼 2棟 部分焼 1棟 死者 1名
65	平成12年	3月21日	元町2丁目	住宅部分焼 1棟 死者 1名
66	平成13年	6月24日	鹿谷町保田	京福電車衝突事故 負傷者 25名
67	平成14年	7月6日	荒土町清水島	住宅全焼 死者 1名
68	平成14年	7月13日	北谷町木根橋	地すべり発生
69	平成16年	2月7日	大長山	加越国境冬山登山遭難事故
		~2月9日		負傷者 14名
70	平成17年	12月		平成18年豪雪
		~平成18年2月		
71	平成23年	1月~2月		勝山市雪害対策室設置
72	平成24年	1月10日	北郷町東野	山斜面崩落
73	平成24年	1月~2月		勝山市雪害対策室設置
74	平成27年	2月17日	鹿谷町杉俣	住宅全焼 死者 1名
75	平成28年	9月20日	昭和町3丁目	水災害
76	平成30年	2月		平成30年豪雪
77	平成30年	2月5日		勝山市雪害対策室設置
78	平成30年	2月7日		勝山市雪害対策本部設置
79	平成30年	5月7日	野向町北野津又	住宅全焼 死者 1名
80	令和元年	9月24日	昭和町3丁目	住宅全焼 死者 1名
81	令和2年	1月		新型コロナウイルス感染拡大
82	令和3年	1月		令和3年豪雪
83	令和3年	1月8日		勝山市雪害対策室設置
84	令和3年	1月9日		勝山市雪害対策本部設置
85	令和3年	4月27日	鹿谷町保田	保田経ヶ岳 山林火災
86	令和3年	6月4日	遅羽町比島	工場火災 爆発 負傷者3名
87	令和4年	1月21日		勝山市雪害対策室設置
88	令和4年	4月13日	鹿谷町志田	住宅全焼 死者 1名
89	令和4年	6月2日	平泉寺町平泉寺	経ヶ岳 山林火災
90	令和4年	8月4日		集中豪雨 勝山市災害対策本部設置
91	令和4年	12月8日	下毛屋	住宅半焼 死者 1名
92	令和5年	1月30日		勝山市雪害対策室設置

## 6 消防の組織



## 7 消防本部事務分掌

課	分 掌 事 務
庶務課	1 庶務及び文書に関すること 2 人事及び組織に関すること 3 経理に関すること 4 補助事業事務の執行に関すること 5 消防用建築物及び消防用備品に関すること 6 消防職員の福利厚生に関すること 7 消防統計に関すること 8 消防団事務に関すること 9 消防施設の補助事業に関すること 10 消防水利施設の保全に関すること 11 その他の課に属さないこと
予防課	1 火災予防対策に関すること 2 人命安全対策に関すること 3 一般住宅防火対策推進に関すること 4 防火管理者に関すること 5 防火団体の育成指導に関すること 6 危険物及び指定可燃物の規制に関すること 7 液化石油ガスその他特殊物質の防火に関すること 8 建築同意事務に関すること 9 消防用設備等の審査及び検査に関すること 10 指定防火対象物の査察に関すること 11 消防法令の違反処理の措置に関すること 12 火災原因調査及び損害調査に関すること 13 火薬類に係る権限移譲された事務に関すること
警戒課	1 水火災、その他の災害の警戒、防ぎよに関すること 2 出動計画及び外勤計画に関すること 3 自衛消防隊の育成指導に関すること 4 警備計画及び運用に関すること 5 消防装備の研究に関すること 6 消防ポンプ自動車等の管理及び整備並びに運用に関すること 7 消防燃料に関すること 8 消防施設の整備計画及び保全に関すること 9 消防水利の対策及び維持管理に関すること 10 住宅開発に係る消防施設対策に関すること 11 消防職団員の訓練に関すること 12 救急業務に関すること 13 救急の技術及び指導に関すること 14 救急の資機材の管理及び運用に関すること 15 医療機関との連絡調整に関すること 16 集団救急災害の対策に関すること 17 救助業務に関すること 18 救助の技術及び指導に関すること 19 救助の資機材の管理及び運用に関すること
通信指令室	1 通信施設の管理及び運用に関すること 2 非常招集に関すること 3 消防気象及び火災警報等の発令、解除に関すること 4 消防広報及び火災統計に関すること 5 災害情報の収集及び連絡に関すること 6 災害弱者緊急通報体制に関すること 7 関係機関との連絡調整に関すること

## 8 消防予算状況 (8表～13表及び15表～20表までR5年3月31日現在)

区 分		令和3年度 (千円)	令和4年度 (千円)	増減 (千円)
市一般会計総額		11,387,000	11,928,000	541,000
消 防 費		341,077	317,785	△23,292
消 防 費 内 訳	常備消防費	295,654	276,756	△18,898
	非常備消防費	23,043	27,717	4,674
	消防施設費	17,069	6,584	△10,485
	救急業務費	4,916	6,333	1,417
	水 防 費	395	395	0
市一般会計との割合		3.00	2.66	

## 9 消防予算と人口等の関係

年度	消防予算 (千円)	人 口 (人)	市民一人当り (円)	世 帯 数 (戸)	1世帯当り (円)
24	381,491	25,866	14,749	8,226	46,377
25	402,482	25,531	15,764	8,127	49,524
26	338,899	25,132	13,485	8,088	41,901
27	340,808	24,359	13,991	8,030	42,442
28	350,520	23,978	14,618	8,002	43,804
29	353,032	23,585	14,968	7,978	44,251
30	413,678	23,186	17,842	7,961	51,963
R1	388,294	22,777	17,048	7,962	48,768
R2	468,644	22,421	20,575	7,942	59,008
R3	341,077	22,018	15,491	7,863	43,377
R4	317,785	21,698	14,646	7,906	40,195

# 10 消防職員配置状況

令和5年3月31日

( ) は兼務

階級 所属別	合計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他の職員	再任用
合計	39(4)	1	5(4)	13	6	5	6	1	2
消防長	1	1							
次長	1		1						
消防署長	(1)		(1)						
次長補佐	1		1						
副署長	(1)		(1)						
庶務課	5(1)		(1)	2		2		1	
予防課	10		1	4	2	1	2		
警防課	16		1	6	4	1	4		
通信指令室	4(1)		1(1)			1			2
消防学校	1			1					
県防災ヘリ派遣									

# 11 消防職員の勤続年数

令和5年3月31日

年数 階級	1年未満	1 ~ 4	5 ~ 9	10 ~ 14	15 ~ 19	20 ~ 24	25 ~ 29	30 以上	合計年	平均年
消防司令長								1	41.0	41.0
消防司令								5	170.0	34.0
消防司令補						3	8	2	348.0	26.77
消防士長				1	4	1			100.0	16.67
消防副士長			3	2					49.0	9.8
消防士		3	3						24.0	4.0
その他の職員					1				17.0	17.0
再任用		2							2.0	1.0
合計		5	6	3	5	4	8	8	751.0	19.26

## 1.2 消防職員の年齢調

令和5年3月31日

階級別 年齢別	合計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他の職員	再任用
20歳未満									
20～24	3						3		
25～29	3						3		
30～34	5					5			
35～39	5				4			1	
40～44	3			1	2				
45～49	8			8					
50～54	7		3	4					
55～59	3	1	2						
60～	2								2
合計年齢	1,659	59	269	629	233	165	144	38	122
平均年齢	42.54	59.0	53.8	48.4	38.8	33.0	24.0	38.0	61.0

## 1.3 消防職員の採用状況

年度 区分	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49～52	53	54
職員数	22	25	24	24	23	23	25	28	27	30	33	31	32	31
採用者数	3	3			1	1	2	3		3	4		1	
退職者数		1		2	1			1		1	2		1	1

年度 区分	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6
職員数	32	32	32	31	32	32	32	32	32	33	33	33	33	35	37
採用者数	2		1	1	1	1			1	3	1			2	4
退職者数		1	2		1			1	2	1			1	3	1

年度 区分	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
職員数	36	37	37	37	37	37	37	37	37	37	36	37	37	37	37
採用者数		2	2	1	1		1	2			1	1	2	1	1
退職者数	1	2	1	1		1	2			2		2	1	1	1

年度 区分	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3	R4
職員数	37	37	38	37	37	38	38	39	40(1)	40(1)	40(1)	39	39(2)
採用者数	1		2		2	2		1	2(1)		1		4(2)
退職者数		1	1	2	1			1		1	(1)	4	1

## 1.4 消防職員の教養状況（10ヶ年）

区分 年度	福井県消防学校																					
	幹部科	専科	初任教育	幹部教育			専科教育					特別教育					その他	救急救命士研修	指導救命士研修	計		
				初級幹部科	中級幹部科	上級幹部科	警防科		予防科			救助科	救急科	水難救助科	特別講座	操法指導員教育					起震車操作員教育	時事法字講座
							警防科	特殊災害科	予防査察科	危険物科	火災調査科											
24	1		2		1	1	1		1	1		1	1	1		2	1				14	
25				1		1		1	1		1	1		1		2				1	10	
26			1		1	1		1	1		1	1	1		2	4				1	16	
27			2	1		1		1	1		1	1	1		2	1				1	14	
28					1	1		1	1		1	1			2	1				1	11	
29	1		1	1		1				1	1	1			2	2				1	1	14
30	1		1			1		1	1		1	1			2	2				1	1	14
1						1		1	1		1	1	1		2	2				1	1	12
2		1	1		1			1	1		1	1				2				1		11
3				1		1		1	1		1	1			2	2						11
4			2		1			1	1		1	1			2	2				1		12

## 1.5 消防団員の報酬及び費用弁償

令和5年3月31日

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	機能別団員
年報酬	83,000	69,000	51,000	46,000	39,000	38,000	37,000	9,250
出動費用弁償	水火災、警戒、教養、訓練等1回につき2,500円							
技術報酬	車両機関員 4,000円 副機関員 3,500円 小型ポンプ機関員 2,500円							

16 消防団員の配置 (定員299名) 令和5年3月31日

区 分	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計	平均 年齢	平均 勤続
実員基本団員	1	2	12	12	25	34	198	292	48.79	15.83
実員機能別団員							8			
本 部	1	2			1	2	20	29	56.03	12.16
機能別ラッパ隊員							3			
特設分団			1	1	2	2	14	20	49.46	22.21
第1分団			1	1	2	2	15	21	44.25	16.16
第2分団			1	1	2	2	14	20	49.42	19.41
第3分団			1	1	2	2	15	21	48.51	14.84
第4分団			1	1	2	3	18	25	43.30	11.56
第5分団			1	1	2	3	3	15	57.75	15.93
機能別サポート隊員							5			
第6分団			1	1	2	3	20	27	47.48	15.27
第7分団			1	1	2	3	18	25	46.41	15.81
第8分団			1	1	2	3	18	25	48.13	15.08
第9分団			1	1	2	3	12	19	46.64	16.19
第10分団			1	1	2	3	19	26	50.95	20.01
第11分団			1	1	2	3	12	19	46.96	13.00

1.7 消防団員の階級別勤続年数 令和5年3月31日

区 分	1未	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35以上	合計
団 長						1				1
副団長				1				1		2
分団長		1			1	2	4	3	1	12
副分団長						1	5	4	2	12
部 長					2	11	6	3	3	25
班 長			1	4	8	8	6	6	1	34
団 員	1	35	42	49	35	24	9	3		198
機能別団員		4	4							8
合 計	1	40	47	54	46	47	30	20	7	292

1.8 分団別団員の勤続年数 令和5年3月31日

区 分	1未	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35以上	合計
本 部 (機能別ラッパ隊含む)		9	3	5	9	1	1	1		29
特設分団		1	1	2	3	6	2	2	3	20
第1分団			6	5	3	3	2	2		21
第2分団		2	3	2	2	2	6	2	1	20
第3分団		5	2	3	1	7	3			21
第4分団		7	3	7	3	3	2			25
第5分団 (機能別団員含む)		2	5	1	1	3	1	1	1	15
第6分団		4	6	4	4	4	4		1	27
第7分団		2	5	5	5	4	1	3		25
第8分団		3	5	5	3	4	3	2		25
第9分団			3	6	6	2	1		1	19
第10分団		2	2	4	4	5	2	7		26
第11分団	1	3	3	5	2	3	2			19
合 計	1	40	47	54	46	47	30	20	7	292

19 消防団員の階級別年齢層 令和5年3月31日

区分	~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60以上	合計
団長									1	1
副団長									2	2
分団長							1		11	12
副分団長							3	3	6	12
部長						4	5	8	8	25
班長				1	7	8	5	6	7	34
団員	1	4	17	38	38	54	23	18	5	198
機能別団員								1	7	8
合計	1	4	17	39	45	66	37	36	47	292

20 分団別年齢層 令和5年3月31日

区分	~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60以上	合計
本部 (機能別ラック隊)				1	4	2	4	8	10	29
特設分団			2	1	1	8	1	5	2	20
第1分団		2		5	2	8	2	1	1	21
第2分団				4	3	6	1	1	5	20
第3分団		1	1	2	3	2	9	2	1	21
第4分団			1	8	8	4	2	1	1	25
第5分団 (機能別団員含む)				1	3	1		1	9	15
第6分団			3	6	2	6	4	4	2	27
第7分団	1		3	2	6	4	3	5	1	25
第8分団			2	4	4	6	3	2	4	25
第9分団				3	5	7	1	1	2	19
第10分団		1	1	1	1	8	5	3	6	26
第11分団			4	1	3	4	2	2	3	19
合計	1	4	17	39	45	66	37	36	47	292

## 2.1 消防職・団員出動状況 (令和4年1月1日～令和4年12月31日)

出動種別		消 防 署									消 防 団									合 計	
		管 内			管 外			計			管 内			管 外			計			車 両 数	人 員
		件数	車数	人員	件数	車数	人員	件数	車数	人員	件数	車数	人員	件数	車数	人員	件数	車数	人員		
火 災	建 物	3	11	39				3	11	39	3	13	124				3	13	124	24	163
	林 野	2	6	17				2	6	17	1	6	41				1	6	41	12	58
	車 両	1	2	9				1	2	9	1	1	6				1	1	6	3	15
	そ の 他	1	2	8				1	2	8	1	2	12				1	2	12	4	20
警 戒	特 命	32	46	139				32	46	139										46	139
	河川増水										1	7	24				1	7	24	7	24
	異常気象																			0	0
	年末警戒	6	6	6				6	6	6	4	24	47				4	24	47	30	53
	漏油処理	7	7	7				7	7	7										7	7
	祭 礼 等	3	5	17				3	5	17										5	17
	そ の 他	13	21	41				13	21	41	34	164	433				34	164	433	185	474
そ の 他	車両点検	3	3	3				3	3	3	146	146	160				146	146	160	149	163
	警防調査	955	955	1079				955	955	1079										955	1079
救 急	交 通	42	42	126				42	42	126										42	126
	急 病	545	545	1638				545	545	1638										545	1638
	一 般	178	178	535				178	178	535										178	535
	そ の 他	165	165	372				165	165	372										165	372
救 助	23	47	156				23	47	156	2	1	4				2	1	4	48	160	
教養・訓練	20	69	187	1	1	3	21	70	190	110	100	1507	10		16	126	100	1523	170	1713	

# 予 防 関 係

## 目 次

1	令和4年火災発生状況	— 3 5 —
2	10年間における火災発生状況	— 3 6 —
3	地域別発生状況	— 3 6 —
4	用途別中高層建築物状況	— 3 7 —
5	建築確認状況	— 3 8 —
6	防火対象物の消防設備設置状況	— 3 9 —
7	危険物施設許認可状況	— 4 0 —
8	数量別危険物施設	— 4 1 —
9	各種届出関係事務処理状況	— 4 2 —
10	協力団体活動状況	— 4 3 —

# 1 令和4年火災発生状況 (令和4年1月1日～令和4年12月31日)

区分 \ 年比		令和3年	令和4年	比較増減		
火災件数	建物	4	3	△1		
	林野	2	2	0		
	車両	1	1	0		
	その他	1	1	0		
計		8	7	△1		
棟数	全焼	2	3	1		
	半焼	0	3	3		
	部分焼	1	0	△1		
	ぼや	0	1	1		
	爆発	1	0	△1		
人的	死者	0	2	2		
	負傷者	4	0	△4		
罹災世帯		1	3	2		
罹災人員		2	8	6		
焼損面積	統計	建物 m <sup>2</sup>	床	296	593	297
			表	189	3	△186
		林野 a		51	51	0
		その他 m <sup>2</sup>		646	394	△252
損害額	総計 千円		60,003	36,407	△23,596	
	1件平均 千円		7,500	5,201	△2,299	
	1日平均 千円		164	100	△64	
	1世帯当り 円		7,625	4,605	△3,020	
	市民1人当り 円		2,710	1,668	△1,042	
火災発生間隔 日		46	52	6		

人口 21,821人

世帯 7,906戸 (令和4年12月31日時点)

## 2 10年間における火災発生状況 (1月1日～12月31日)

区分 \ 年		25	26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4	平均
火災件数	建物	6	6	7	4	1	6	3	5	4	3	4.5
	林野		1					1		2	2	0.6
	車両	1	1	3	1		1			1	1	0.9
	その他	2		1	3	1	3	2	4	1	1	1.8
棟数	全焼	2		6	1		3	1	1	2	3	1.9
	半焼	1			1				1		3	0.6
	部分焼		1						1	1		0.3
	ぼや	3	4	4	2	1	3	4	5		1	2.7
死者				2			1	1			2	0.6
負傷者			2	1	2	1	1	4	1	4		1.6
焼損面積 (m <sup>2</sup> )		床 3 表 0 2 8	床 1 表 1 2	床 9 表 2 0 7	床 5 表 1 1 0	床 0 表 0 0	床 7 表 5 3 0	床 1 表 3 2 7	床 1 表 1 9 8 7	床 2 表 8 9 6	床 5 表 9 3 3	床 3 表 7 2 5
損害額 (千円)		1 3, 3 3 1	4, 0 2 3	2 3, 8 5 4	6, 7 0 0	1 5 4	2 4, 3 4 6	1 5, 0 0 7	1 9, 3 9 5	6 0, 0 0 3	3 6, 4 0 7	2 0, 3 2 2

## 3 地域別発生状況 (1月1日～12月31日)

地域別 \ 年	25	26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4
市街地	2	1	2	1		1	2	2		
猪野瀬	2	1	1	1				1		1
北谷				1					1	
平泉寺	1	1	1	1		1	1		1	3
村岡	1	1	2	2		2		2	1	
野向						2				
荒土		1				1	1	3		
北郷	1	1	2	1		1	1	1	2	1
鹿谷	2		3						1	2
遅羽		1	2	1			2		1	

#### 4 用途別中高層建築物状況 (令和5年3月31日現在)

用途別 \ 階数	3階	4階	5階	6階	7階	合計
集 会 場	2					2
料理・飲食店等	6					6
店 舗	2					2
旅館・ホテル等	14	6	5	1		26
病 院 等	4	1	1			6
学 校	14					14
博 物 館	1			1		2
工 場	11	7		1	1	20
倉 庫	2					2
事 業 所	12	4	1			17
複 合 用 途	27	1				28
合 計	95	19	7	3	1	125

5 建築確認状況 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

対 象 物 名	新 築	増 築	改 築	その他	合 計
1 イ 劇場・体育館					
1 ロ 公会堂・集会場					
2 ロ 遊技場・ダンスホール					
2 ニ 個室店舗					
3 イ 料理店					
3 ロ 飲食店	2				2
4 百貨店・マーケット	2				2
5 イ 旅館・ホテル等					
5 ロ 寄宿舍・共同住宅等					
6 イ 病院・診療所					
6 ロ 主に入所を伴う社会福祉施設	1	1			2
6 ハ 主に通所の社会福祉施設					
6 ニ 幼稚園等					
7 小・中・高等学校					
8 図書館・博物館					
9 ロ 一般の公衆浴場					
10 車両の停車場					
11 神社・寺院・教会等					
12 イ 工場・作業場		2			2
13 イ 自動車車庫・駐車場					
14 倉庫	2				2
15 前各項に該当しない事業所	3	1			4
16 イ 特定用途を含む複合用途	1				1
16 ロ 上記以外の複合用途					
17 重要文化財					
建築設備					
住宅等	14				14
合 計	25	4			29

6 防火対象物の消防設備設置状況 (令和5年3月31日現在)

設備名 項	自動火災報知設備	スプリンクラー設備	屋内消火栓設備	屋外消火栓設備	連結散水設備	連結送水設備	非常警報設備	避難器具	防火対象物総数	
									1,000 m <sup>2</sup> 未満	1,000 m <sup>2</sup> 以上
1項 口	16		6				18	2	61	6
2項 口	4		2					1		4
3項 イ	11		1				1	2	12	1
口	6		2				3	1	24	2
4項	28		8				6		51	14
5項 イ	22	2	1			2		3	20	3
口	5						4	9	38	14
6項 イ	7	3	1			1	2	3	5	5
口	11	11						3	4	7
ハ	19							1	19	2
ニ	2	1						1	1	1
7項	15		13					13	1	14
8項	5		3					1	3	3
9項 口	1								1	1
10項									1	
11項	5		1				8	1	37	8
12項 イ	104		53	8	1	2	2	6	108	70
13項 イ	5								28	1
14項	21		8						103	12
15項	19		4				11	1	93	20
16項 イ	23	4	4				6	5	87	6
口	2		1						11	1
17項	7								7	
合計	338	21	108	8	1	5	61	53	715	195

## 7 危険物施設許認可状況 (令和5年3月31日現在)

区分 \ 年	設置許可	変更許可	完成検査		廃止	施設数
			設置	変更		
製造所						3
屋内貯蔵所						9
屋外タンク貯蔵所					1	24
屋内タンク貯蔵所						1
地下タンク貯蔵所						43
移動タンク貯蔵所					1	13
屋外貯蔵所						2
給油取扱所		2		2		16
一般取扱所						20
合計		2		2	2	131

## 8 数量別危険物施設 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

区別	製造所等別	製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	合計
5倍以下			1	4	1	24	13	1		12	56
5倍を超え 10倍以下		2	2	5		9		1	5	4	28
10倍を超え 50倍以下		1	4	15		9			5	4	38
50倍を超え 100倍以下			1			1			2		4
100倍を超え 150倍以下									2		2
150倍を超え 200倍以下											
200倍を超え 1000倍以下			1						2		3
合計		3	9	24	1	43	13	2	16	20	131

※ 液化石油ガス貯蔵又は、取扱いの開始届出

(令和4年度)・・・ 1件

9 各種届出関係事務処理状況 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

種 別	件 数
発電設備 変電設備 蓄電池設備 燃料電池発電設備	4
火花を生ずる設備設置届出書	0
水素ガスを充填する気球の設置届出書	1
火災とまぎらわしい煙、又は火災を発生するおそれのある行為の届出書	3 6
煙火打ち上げ（仕掛け）届出書	4
少量危険物等の貯蔵届出書	1 3
水路断（減）水届出書	1 6
露店開設届出書	1 6
防火対象物使用開始届出書	1 3
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届出書（液化石油ガス設備工事含む）	6
禁止行為の解除承認申請書	2
火を使用する設備等の設置届出書	4
消防用設備等試験申請書	6
危険物タンク試験申請書	0
罹災証明願	2
救急搬送証明願	0
消防用設備設置届出書	2 8
防火管理者選任（解任）届出書	7 7
自衛消防訓練通知書	1 9 5
消防計画作成（変更）届出書	1 1 4
道路占用	2 3
道路工事	5 1
催物開催届出書	0
消防用設備等点検結果報告	3 6 5
自衛消防隊訓練計画届（地区自衛消防）	2 3
その他（ネオン管等設備設置届出書）	1

10 協力団体活動状況 (令和5年3月31日現在)

団 体 名	加入団体数	人員	活 動 内 容
勝山市 危険物安全協会 (S. 38. 11. 1)	66	66	①危険物の災害防止に関する調査研究 ②危険物等の災害防止広報 ③危険物取扱者講習
勝山市 防火管理研究協議会 (S. 41. 11. 18)	19	19	①防火管理知識のかん養 ②災害防止と防火思想の普及宣伝
勝山市女性防火クラブ 消防隊 9 (S. 45. 6. 25)	7	61	①家庭及び地域における防火思想の普及啓蒙 ②火気使用器具の正しい取り扱い及び初期消火技術の習得
勝山市 少年消防クラブ (S. 40. 9. 2)	16	691	①少年消防として必要な消防研修 ②火災予防に関する広報活動 ③県BFC交歓会参加
勝山市 幼年消防クラブ (S. 59. 4. 1)	12	425	①幼年消防として必要な消防研修 (火に対する正しいしつけを身につける) ②火災予防に関する広報活動

# 警 防 関 係

## 目 次

1	現有消防力	－ 4 5 －
2	消防自動車性能一覧表	－ 4 5 －
3	小型動力ポンプ性能一覧表	－ 4 6 －
4	消防機械等の経過年数表	－ 4 7 －
5	消防水利の現状	－ 4 7 －
6	自衛消防組織結成状況	－ 4 7 －
7	救急出場件数	－ 4 8 －
8	過去 2 ヶ年間の救急出場件数	－ 4 8 －
9	搬送人員状況	－ 4 8 －
1 0	救助活動状況	－ 4 9 －

## 1 現有消防力

区 分	消防本部・署	消 防 団	地 域 自 衛
普通ポンプ車	2台	2台	
水槽付ポンプ車	1台		
多目的ポンプ車	1台		
救助工作車	1台		
積 載 車	0台	12台	
小型動力ポンプ	0台	12台	97台
救 急 車	3台		
指令（指導）車	1台	1台	
広 報 車	1台	1台	
作 業 車	1台		
軽可搬ポンプ	2台		11台

## 2 消防自動車性能一覧表

区 分 所 属	車 名	年 式	エンジン		ポ ン プ				
			気筒数	馬力	ポンプ型式	吸径	吸口数	放口数	放水規格
1号車	イスズ	14	4	140	NF75	75	2	4	A-2
2号車	ヒノ	31	6	240	NF75	80	3	4	A-1
8号車	ヒノ	29	4	150	NF75	80	2	4	A-2
梯子車	ヒノ	R4	6	177	MZI	75	2	4	A-2
工作車	ヒノ	24	6	220	—	—	—	—	—
救急1	トヨタ	19	4	151	—	—	—	—	—
救急2	トヨタ	R1	4	151	—	—	—	—	—
救急3	トヨタ	25	4	151	—	—	—	—	—
指揮1	トヨタ	26	4	151	—	—	—	—	—
指令1	三菱	15	6	180	—	—	—	—	—
広報1	スズキ	29	4	52	—	—	—	—	—
広報2	ニッサン	22	4	95	—	—	—	—	—
作業車	三菱	14	4	94	—	—	—	—	—

特設分団	トヨタ	25	4	144	MZI	75	2	4	A-2
第1分団	トヨタ	22	4	144	—	—	—	—	—
第2分団	トヨタ	24	4	144	—	—	—	—	—
第3分団	イズズ	R2	6	150	ME-700	75	2	4	A-2
第4分団	イズズ	22	4	110	—	—	—	—	—
第5分団	トヨタ	22	4	144	—	—	—	—	—
第6分団	トヨタ	21	4	136	—	—	—	—	—
第7分団	トヨタ	21	4	136	—	—	—	—	—
第8分団	トヨタ	21	4	136	—	—	—	—	—
第9分団	トヨタ	24	4	144	—	—	—	—	—
第10分団	トヨタ	24	4	136	—	—	—	—	—
第11分団	トヨタ	21	4	136	—	—	—	—	—
積載1	トヨタ	27	4	144	—	—	—	—	—
積載2	スズキ	31	3	49					

### 3 小型動力ポンプ性能一覧表

区分 所属	車名	年式	エンジン			ポンプ		
			気筒数	サイクル	馬力	型式	吸径	放水規格
第1分団	トーハツ	22	3	4	30	VF63AS	75	B-2
第2分団	トーハツ	24	3	4	30	VF63AS	75	B-2
第4分団	トーハツ	22	3	4	30	VF63AS	75	B-2
第5分団	トーハツ	22	3	4	30	VF63AS	75	B-2
第6分団	トーハツ	21	3	4	30	VF63AS	75	B-2
第7分団	トーハツ	21	3	4	30	VF63AS	75	B-2
第8分団	トーハツ	21	3	4	30	VF63AS	75	B-2
第9分団	トーハツ	24	3	4	30	VF63AS	75	B-2
第10分団	トーハツ	24	3	4	30	VF63AS	75	B-2
第11分団	トーハツ	21	3	4	30	VF63AS	75	B-2
消防団	トーハツ	27	3	4	30	VF63AS	75	B-2
消防団	シバウラ	31	2	2	32	FF500	75	B-2

#### 4 消防機械等の経過年数表

##### ア 四輪自動車

区 分	3年未満	6年未満	8年未満	10年未満	15年未満	15年以上	計
消防署	1	3	1	2	1	3	11
消防団	1	1	1	1	11	1	16
計	2	4	2	3	12	4	27

##### イ 小型動力ポンプ

区 分	3年未満	6年未満	8年未満	10年未満	15年未満	15年以上	計
消防署	0	0	0	0	0	0	0
消防団	0	1	1	0	10	0	12
計	0	1	1	0	10	0	12

#### 5 消防水利の現状

消 火 栓		防 火 水 槽					プー
	上水道		70m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup>	20m <sup>3</sup>	その他	
基 準	437	公 設	5	197	13	12	3
基準外	743	私 設	7	39			2

#### 6 自衛消防組織結成状況

可搬式ポンプ保有隊	自主防災組織	婦 人 消 防 隊	事 業 所
91	71	7	275

## 7 救急出場件数 (令和4年1月1日～令和4年12月31日)

出場別/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
出場数	80	66	89	60	63	75	87	88	70	74	86	92	930	
内 訳	水難	1									1		2	
	交通	1	2	3	5	3	4	6	4	3	3	4	4	42
	労働		1		1	1	1	1		1				6
	運動			1					1				1	3
	一般	23	16	20	11	8	4	15	18	11	14	17	21	178
	火災												1	1
	加害		1					1			1	1		4
	自損	1				1	1	1	1				1	6
	急病	43	38	51	30	34	48	53	51	45	43	54	55	545
その他	11	8	14	13	16	17	10	13	10	13	9	9	143	

## 8 過去2ヶ年間の救急出場件数

出場別/年	令和3年	令和4年	
出場件数	863	930	
内 訳	交通	23	42
	急病	444	545
	一般	190	178
	その他	206	165

## 9 搬送人員状況 (令和4年1月1日～令和4年12月31日)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
75	59	90	55	56	76	83	83	65	73	76	81	872

# 10 救助活動状況 (令和4年1月1日～令和4年12月31日)

	事故種別									
	火災	交通事故	水難	自然災害風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他事故	合計
出動数		8	2	4					10	24
1月		1	1						2	4
2月		1							3	4
3月									1	1
4月		1							1	2
5月		1							1	2
6月										
7月		1								1
8月				4					1	5
9月									1	1
10月										
11月			1							1
12月		3								3
活動人員数		52	14	12					45	123
救助人員数		8	2	1					6	17
死亡			2						1	3
重症		1								1
中等症		2							1	3
軽症		4							4	8
その他		1		1						2

# 通 信 関 係

## 目 次

1	無線通信施設	— 5 1 —
2	緊急通報等受信状況	— 5 2 —
3	気象統計	— 5 4 —
4	気象情報統計	— 5 5 —

# 1 無線通信施設

無 線 施 設				
基地局	移動局	携帯局	固定局	福井県防災情報ネットワーク
3	17	デジタル無線 25	12	1

通 信 施 設				
119番 ひかり回線	一般加入	転送用	専用線 市役所	衛星携帯
2	1	1	1	1

## ※119回線内訳

NTT	携帯	IP回線	ヘルプネット	監視用	コールバック
2	8	6	2	2	2

## ※一般加入内訳

一般電話	留守テル	FAX
4	2	1

## ※転送用内訳

携帯119転送	UUI
2	1

## 2 緊急通報等受信状況

### (1) 局別受信状況

	83局	87局	89局	携帯	IP	一般加入	駆け付け	自己覚知	その他	合計
4月	0	17	5	35	19	16	0	0	1	93
5月	0	23	9	23	31	19	0	0	2	107
6月	0	15	5	44	25	21	0	0	2	112
7月	4	21	9	48	35	16	0	0	2	135
8月	1	10	7	51	35	22	0	0	3	129
9月	1	15	4	32	36	15	1	0	4	108
10月	0	15	5	50	40	13	0	1	5	129
11月	3	38	8	44	44	21	1	0	5	164
12月	1	13	6	59	35	11	0	0	2	127
1月	0	14	7	78	39	23	0	0	3	164
2月	1	21	7	61	27	25	0	0	1	143
3月	0	28	9	43	28	15	0	0	4	127
合計	11	230	81	568	394	217	2	1	34	1,538

### (2) 曜日別受信状況

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計
4月	9	24	8	18	11	11	12	93
5月	11	17	20	18	19	20	2	107
6月	15	22	21	18	14	14	8	112
7月	28	12	20	14	17	26	18	135
8月	9	28	17	19	22	19	15	129
9月	16	9	15	12	24	17	15	108
10月	26	18	21	16	17	17	14	129
11月	17	21	37	29	18	24	18	164
12月	17	12	21	18	18	19	22	127
1月	28	31	23	24	22	17	19	164
2月	19	18	21	33	17	19	16	143
3月	14	22	14	27	25	16	9	127
合計	209	234	238	246	224	219	168	1,538

### (3) 内容別件数

	災害				その他					合計
	火災	救急	救助	その他災害	問合せ	悪戯	訓練	間違い	その他	
4月	8	61	2	1	3	0	6	4	8	93
5月	2	62	2	1	1	0	27	2	10	107
6月	1	73	0	0	2	0	19	8	9	112
7月	0	90	1	1	1	0	23	5	14	135
8月	0	88	3	0	1	0	4	8	25	129
9月	1	73	1	0	1	0	15	2	15	108
10月	7	74	0	0	7	0	23	4	14	129
11月	0	86	1	0	3	0	52	8	14	164
12月	1	88	3	0	1	0	12	8	14	127
1月	0	103	1	0	3	0	4	29	24	164
2月	0	92	1	2	2	0	12	14	20	143
3月	3	66	1	1	9	0	21	14	12	127
合計	23	956	16	6	34	0	218	106	179	1,538

## (4) 時間別受信状況

	0 ～	1 ～	2 ～	3 ～	4 ～	5 ～	6 ～	7 ～	8 ～	9 ～	10 ～	11 ～	12 ～	13 ～	14 ～	15 ～	16 ～	17 ～	18 ～	19 ～	20 ～	21 ～	22 ～	23 ～	合計
4月	1	0	3	0	0	1	1	10	2	6	11	9	5	5	3	4	3	6	5	8	6	0	1	3	93
5月	1	3	1	0	1	0	1	5	13	10	11	3	6	10	6	6	5	3	4	6	3	3	3	3	107
6月	3	1	2	1	4	0	3	3	8	8	9	6	9	9	8	8	8	6	5	3	2	3	2	1	112
7月	1	0	4	2	4	5	3	4	5	19	12	5	7	11	8	10	6	5	10	5	5	0	3	1	135
8月	3	5	4	0	2	2	6	8	6	14	8	12	10	6	9	7	8	6	4	0	4	2	1	2	129
9月	1	2	5	1	0	1	6	4	5	10	9	6	6	6	8	4	9	6	5	1	4	7	1	1	108
10月	0	0	0	0	1	2	3	0	7	16	16	11	11	6	8	5	12	7	6	3	4	5	3	3	129
11月	3	4	1	1	2	4	2	4	17	15	14	10	8	16	18	13	5	11	2	3	2	1	3	5	164
12月	0	2	5	3	4	1	3	3	5	16	6	6	8	8	13	10	6	7	3	7	7	2	2	0	127
1月	2	0	2	1	2	5	4	7	6	19	16	12	17	9	9	15	8	10	5	7	3	3	1	1	164
2月	0	0	2	2	1	2	5	7	12	10	10	15	7	12	14	9	8	5	7	5	4	3	1	2	143
3月	2	2	2	1	0	0	4	3	8	14	7	7	3	7	15	6	11	5	5	5	12	2	5	1	127
合計	17	19	31	12	21	23	41	58	94	157	129	102	97	105	119	97	89	77	61	53	56	31	26	23	1,538

## (5) 男女別通報者内訳

	男	女	不明	合計
4月	37	50	6	93
5月	49	54	4	107
6月	47	59	6	112
7月	59	69	7	135
8月	60	65	4	129
9月	48	58	2	108
10月	53	73	3	129
11月	89	71	4	164
12月	61	61	5	127
1月	86	61	17	164
2月	64	69	10	143
3月	50	75	2	127
合計	703	765	70	1,538

## (6) 通報者別内訳

	成人	老人	子供	不明	合計
4月	76	11	0	6	93
5月	96	7	0	4	107
6月	90	16	0	6	112
7月	118	10	0	7	135
8月	109	16	0	4	129
9月	91	15	0	2	108
10月	119	7	0	3	129
11月	142	18	0	4	164
12月	108	14	0	5	127
1月	131	16	0	17	164
2月	123	10	0	10	143
3月	115	10	0	2	127
合計	1,318	150	0	70	1,538

### 3 氣象統計

月	平均 風速 (m/s)	瞬間最大		氣溫			濕度		氣壓 (hPa)	月積算 雨量 (mm)	月最高 降雪量 (mm)	月最高 積雪量 (mm)
		風速 (m/s)	風向	月平均 (°C)	月最高 (°C)	月最低 (°C)	相對 (%)	実効 (%)				
4	1.8	19.2	北東	13.3	27.3	-1.6	75.7	76.7	1018.9	99.4	—	—
5	1.8	11.6	北北東	17.1	32.0	4.3	73.1	75.2	1015.2	70.0	—	—
6	1.4	25.5	西	22.4	35.3	10.8	81.1	82.1	1011.8	62.0	—	—
7	1.3	12.5	西	25.8	36.3	18.9	85.9	86.4	1009.6	285.2	—	—
8	1.2	15.2	西	26.4	36.8	16.9	86.4	86.3	1010.5	330.4	—	—
9	1.2	18.3	東北東	23.8	33.5	12.3	86.6	86.8	1014.4	142.8	—	—
10	1.1	18.3	北東	15.1	28.8	3.2	84.9	86.2	1021.7	92.8	—	—
11	1.0	13.9	北東	11.8	23.9	3.3	86.6	86.9	1021.6	107.2	—	—
12	0.7	13.9	北	3.2	14.4	-2.8	93.7	92.8	1021.1	355.6	45	83
1	0.9	15.2	北北東	1.6	11.3	-6.1	90.2	90.6	1022.1	177.4	68	110
2	1.1	18.3	北東	2.2	16.6	-4.2	86.8	88.3	1025.2	124.8	17	80
3	1.5	17.9	西	9.2	25.4	-1.0	78.0	79.5	1022.4	101.6	—	—

平均	1.3	16.7		14.3	26.8	4.5	84.1	84.8	1017.9	162.4		
最高	1.8	25.5	西	26.4	36.8	18.9	93.7	92.8	1025.2	355.6	68	110
最低	0.7	11.6	北北東	1.6	11.3	-6.1	73.1	75.2	1009.6	62.0		
積算										1949.2		

#### 4 気象情報統計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通報	火災気象通報	5	10	3	0	0	0	0	1	0	0	0	7	26	26
特別警報	大雨特別警報													0	0
	大雪特別警報													0	
	暴風特別警報													0	
	暴風雪特別警報													0	
警 報	大雨警報				2	2	1							5	6
	洪水警報													0	
	大雪警報									1				1	
	暴風警報													0	
	暴風雪警報													0	
	合 計	5	10	3	2	2	1	0	1	1	0	0	7	32	32

警報発表日 【大雨】 7/3, 12 8/4, 20 9/20 【大雪】 12/23